

事務事業名		日本下水道協会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	下水道課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	監理係	担当課長名	増田 道久	
	施策	4 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化向上					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	17933	公共下水道	1	1	1	日本下水道協会参画事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業					市単独事業				
		任意的事業・義務的事業					任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和50年度～		根拠法令 条例等	日本下水道協会定款					
	実施方法					直営					
	事業分類					参画事業					
リーディングプロジェクト						該当なし					
市長マニフェスト						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
市職員 (参画対象団体) 日本下水道協会 ※日本下水道協会とは、下水道に関する調査研究を行うとともに、下水道の普及による河川、湖沼、海など公共水域の清らかな水環境の創造を目的として、下水道事業を実施または計画している地方公共団体を正会員として構成している団体である。 会員数:1,507団体	(市の活動) 日本下水道協会に会員として負担金を支出。 下水道賠償責任保険への加入。 (日本下水道協会の活動) 下水道事業の調査・研究、提言活動、下水道関係団体への支援、広報活動、下水道協会誌の発行、研修事業、下水道展、下水道賠償責任保険の取扱等。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	会議の開催	回	1	1	1		
	研修会の開催	回	15	15	15		
	下水道展の開催	回	1	1	1		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市職員 (参画対象団体) 日本下水道協会	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	下水道課職員数	人	18	19	20		

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① 下水道事業に関する最新情報を得る。 ② 下水道事業の推進を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	参考となる情報/最新情報・研修会	%	100.0	100.0	100.0		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

① 生活排水処理施設が整備されている。 ② 水洗化が図られている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	公共下水道等処理人口普及率(処理区域内人口/人口)	%	60.6	65.6	66.3	67.1	67.8
	公共下水道による水洗化率(水洗化人口/処理区域内人口)	%	92.5	92.5	92.5	92.6	92.7

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
		千円						
投入量	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	376	379	381			
	事業費計(A)	千円	376	379	381	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	376	負担金	379	負担金	381
人件費	人	1	1	1				
のべ業務時間	時間	10	10	10				
人件費計(B)	千円	39	39	39	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	415	418	420	0	0		

事務事業名	日本下水道協会参画事業	担当部	都市建設部	担当課	下水道課	担当係	監理係
-------	-------------	-----	-------	-----	------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	日本下水道協会は、昭和39年に下水道整備を実施している地方公共団体が会員となり設立された団体である。本市は昭和50年から会員となっている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	下水道整備の進展並びに社会情勢に変化に伴い、下水道事業を実施する上で課題が山積し、一つの公共団体で対応することが困難となっている。 政府系公益法人について事業仕分けが実施され、日本下水道協会についても組織の見直しが行われた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	下水道事業の整備促進につながっているため施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	会員は下水道事業を実施し又は計画中の地方公共団体である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	協会は下水道事業の運営、下水道技術に関する調査研究や下水道に関する施策の提言活動を行っており対象と意図はあっている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	必要な情報の収集や提言活動が行われており成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 関東地方下水道協会参画事業、栃木県下水道協会参画事業 それぞれ公益法人の改革で別の団体となったため統合できない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	負担金は総会の総意で決定されるため削減は困難である。 人件費についても必要最小限の時間で行っており削減することはできない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	受益者は公共下水道使用者であり受益者負担金を負担している。受益者負担については、市と比較して妥当である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	公共下水道事業を廃止した時点で事業は廃止となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			